



九重山火山防災マップ

水蒸気噴火による噴火現象(硫黄山周辺)

硫黄山周辺では、水蒸気爆発による噴火活動が、少なくとも約1,700年前以降、何度も発生しており、今後とも長期にわたって、硫黄山周辺で水蒸気噴火が発生する可能性が高いと考えられています。

マグマ噴火による噴火現象(九重山全体)

九重火山群におけるマグマ噴火による噴火活動は、長期的には九重山の西部から東部へと移動しています。最新のマグマ噴火は、1,600年前頃の黒岳溶岩及び黒岳火砕流ですが、今後長期的な火山活動を見据えると、噴火口の位置を特定が出来ていません。



記号の色と意味

噴火が考えられる場合の 噴火警戒レベルに基づく規制

火山活動の状況を踏まえて噴火警戒レベルが設定され、大きな噴石(20~30cm以上)の飛散等が考えられる範囲の立入等が規制されます。

大きな噴石の飛散が考えられる範囲外であっても、小さな噴石(直径数cm程度)が風に流されて飛散する可能性があります。

想定火口域から概ね2km
想定火口域から概ね1.5km
想定火口域から概ね1km



所要時間 登山道
(所要時間は目安です)

休憩小屋
(噴火時には使えません)

想定火口

想定火口域

火砕流本体部
火砕サージ
(火砕流熱風部)

火山灰が積もった後に雨によって 土石流が流れる予想範囲

火山灰が積もった後に雨で発生する土石流の流れる予想範囲です。
川沿いの低い場所を流れます。



溶岩流流下範囲
(左の図に示しています)

噴石
「こぶし大」の噴石が飛んでくる危険性のある範囲です。

火山ガスが溜まりやすい範囲

普段から注意が必要

普段から火山ガスが溜まりやすい範囲です。



※大分県ホームページより

硫黄山で噴火が発生した場合

大船山で噴火が発生した場合

九重山は、火口位置を想定することが難しいため、噴火のイメージをつかむための事例研究として、大船山の米窪火口から噴火した場合の被害想定区域図を作成しています。

